

一般質問(1)

一般質問の要旨

第3回定例会では、29人の議員が一般質問を行いました。ここでは、その主な質問内容についてお知らせします。なお、質問内容については、各議員が執筆し、その責任のもとに掲載しています。

凡例

- 西東京自由民主党・無所属 (自民・無)
西東京市議会公明党(公明) 民主党・社民クラブ (民主・社)
日本共産党西東京市議団 (共産)
生活者ネットワーク(生ネ) 無所属 (無所属)

中学校給食検討委員会の中間報告と、子どもの権利条例について

田中 のりあき(自民・無)

給食親子方式で親になる小学校は調理業務民間委託校だが、それよりも条件のいい直営校がある。直営校と民間委託校の入れかえも検討すべきでは。

要件を備えた直営校を、民間委託に切りかえる方法もある。配置がえ等も検討する。

子どもの権利に関する条例の「権利」と国連の権利条約とのニュアンスの違いがあるのではないかと、英語のライトと、日本語の権利とはニュアンス

の違がある。条例策定に当たり、言葉の使い方に十分かつ慎重に配慮する。

3・4・21号線整備に当たり、事務所等の設置と、早期のエレベーター等の整備、また、にぎわいのある商店街づくりとは、

事務所については、進捗状況を見ながら具体的に検討する。エレベーター等についても、西武鉄道と協議を進め、早期整備の実現に向け努力する。商店街の皆様とも意見交換をする。

提言し続けた駐輪場100円統一！東伏見周辺の課題への取り組み

稲垣 裕二(自民・無)

早大グラウンド通り 市道113号線の拡幅をすべきと考えるが。

拡幅整備は難しい課題が多いが、安全対策は重要課題であり、現道の改修での安全対策を考えている。

U字溝等の改良の余地はあると思うがどうか。 都市整備部長 U字溝の改修や電柱の位置等歩行者空間の確保の検討を進める。

東伏見駅駐輪場 再三申し上げた一時利用料金100円統一を10月より実現していただいた。東

伏見駅北口第1・B駐輪場閉鎖への今後の対策は。 市長 本年12月末日で返還する。近隣に新たな駐輪場を確保できるよう努力する。

自治体健全化法について 市長 より厳しい自治体監査が求められる。会計部門の強化は監査体制の強化に通じると思うがどうか。

行政内部においても、正確に事務事業を行うことは重要である。 市長 本市の起債の償還能力を加味した償還可能な年限を算出し公表しては。



東伏見駅北口第1・B自転車駐輪場

修了者の効果の検証、また介護予防ボランティアの活用についての考えは。

講座の事前と事後にアセスメントを行い、一定程度効果が上がっている。介護予防ボランティアは、養成講座を来年2月に行う。

企画部参与 指摘に沿って、将来負担を考える1つの指標として検討していく。防災訓練について

本年は中止となったが、今後どうするのか。 市長 防災意識の啓発を目的とした事業を実施したい。

ごみ問題・市内溢水地域対策 北原交差点周辺交通問題について

小林 たつや(自民・無)

19年9月からの戸別収集翌年1月から始まった有料化、指定袋収集から8カ月が経過したが、その効果と弊害、集積所のトラブル、有料化の考え方を伺う。

不燃ごみが半分以上資源化され可燃ごみも20%の減量を達成している。 市長 集積場では収集日、分別方法が徹底されず、トラブルがあり、悪質な場合には警察の協力も仰ぐ。

市長は前回市長選挙の問題整理をして初代前市長の名誉回復を

浅野 高司(自民・無)

市長は平成17年の市長選挙の街頭演説で、「保谷高範陣営は、4年前の選挙においてにせ電報で逮捕者を出した。デマ、怪文書などインチキをして市長になった」と叫び、その根拠として都議会の警察消防委員会

市長選・公約達成度が問われる！ 市民との公約検証・具現化目指せ

大塚 光男(自民・無)

将来のまちづくりに重要な後期基本計画策定は、来年2月末を目指す。行政評価結果を踏まえ、今後の取り組みは、

東大農場整備に伴い、公共機関誘致の取り組みは、連絡会を活用し協議。ひばりが丘団地の基本協定見直しに伴い運動施設等の整備に変更はないか。

スポーツゾーン整備に変更はない。 市長 文化芸術振興条例制定の進捗と文化・スポーツ行政の所管組織のあり方は、組織再編議論と並行して検討を進める。

ごみ収集カレンダーのさらなる充実を、有料の指定袋の料金は近隣市との整合性を持たれたい。 市長 市内50力以上ある溢水地域への対応は、

地表の多くがアスファルト等に覆われ、低地では高い箇所からの流入が起きてしまう。今後は、施策全体を見て対応したい。 意見 溢水は温暖化が主な

ご意見として伺う。 市長は、就任時に多くの市民の意見を聞くために、基本的政治姿勢として、基本に車座集会を進めると言った。最近、庁舎入口・エレベーターに案内が見えないが、放棄されたのか。

都市基盤整備は着実に進めよ 20万都市のまちと人のあり方

海老沢 進(自民・無)

東大農場整備計画 新整備計画では、南側に約1万5千㎡、その他にも広大な土地処分が計画されているが。

まちづくりの覚書を大学と交わした。処分地は公共施設等に活用したい。

南口周辺整備は市の後期基本計画に位置づけ、今後検討を進めていく。 西東京ブランド

周辺市では農産物等のブランドづくりに力を入れている。今後のブランドづくりの考え方は、

農家の「めぐみちゃん」キャラクターのほかに食の文化、スポーツ、市民まつり、文化祭などさまざまな分野で広く市の特色を探っていききたい。

朝食を毎日食べる、読書する、家族と話す生徒は、テストの正答率が高いと関係性が確認されたが、



北原交差点の歩道橋

行政圏で課題・問題の調査研究を行っていると思うが、いつまで検討するのか。市独自の提案を考えないのか。 市長 調査研究結果、市民、議会、都、鉄道事業者の意見を踏まえ検討する。 市長 調布保谷線で分断される生活道路の情報公開を。 市長 市民への情報公開と説明をするように求める。